

20年G1戦線の開幕戦

いよいよ20年のG1戦線の幕が開く。第35回全日本選抜競輪が豊橋競輪場において2月8日～11日の日程で開催される。トラック自転車競技シーズンのため脇本雄太、新田祐大は不在ながら、新S班が今年初めて一堂に会する。他にも浅井康太、諸橋愛、太田竜馬、原田研太郎らの強豪が参戦。新年の流れを占う意味でも目が離せないシリーズだ。KEIRINグランプリ2020の出場権を真っ先に獲得するのは果たして誰なのか。

今年の記念開催は1月26日までに4開催が行われた。優勝者は立川、清水裕友、和歌山、松浦悠士、大宮、平原康多、いわき平、山崎芳仁。S班が3開催を制しており、昨年のベストナインが貫禄を示している状況だ。今年も勢いを

持続しているのなら、地方上位のS班を重視するのが自然だろう。

中四国勢の充実ぶりは目を見張る。競輪祭の決勝でワントゥーを決めた松浦、清水はともに今年も記念Vと最高のスタートを切った。さらに太田竜馬、原田研太郎ら強力な自力型がそろって、勝ち上がり戦から有利にレースを進められそうだ。松浦は1月和歌山記念では豪快なまくりで優勝したように、自力攻撃の破壊力には素晴らしいものがある。自力でも強い松浦が頼



松浦悠士



第35回 読売新聞社杯
全日本選抜競輪
2020/2/8(日)9(月)10(月)11(火)祝
豊橋けいりん

りになる目標に付けるとなれば、優位に立つのは間違いない。昨年の競輪祭に続きG1連覇は十分だ。1月平記念はやや動きが重く、決勝を外した清水だが、最終日は接触して大きくバランスを崩す不利がありながら、態勢を立て直すくりで前団を飲み込んだ。やはり2年連続でS班を張っているのは伊達ではない。念願のG1初Vを達成するか。太田竜馬は、今年1月向日町から始動して⑤⑥着。1カ月半ぶりの実戦だったためか、好調と言えるような動きではなかったが、この開催の前に高松記念を走るので調子の上積みは期待できる。昨年は輪界トップの記念4Vを達成した機動力は一級品で、G1で主役を演じて不思議ではない。スピードの切れには素晴らしいものがある原田研太郎も怖い。今年1月小松島で完全V、同月和歌山記念①①①着と勝ち星を量産している。

平原康多は輪界を代表するオールラウンダーらしく今年も安定プレーを演じている。1月立川記念④②②着、同月大宮記念⑤①①着と連対率は75%と高い。全日本選抜は2013年、2017年と2Vを飾っている相性のいい大会。今の調子なら3V目を達成する場面も大いにありそうだ。昨年はグランプリを制

覇して賞金王に輝いた佐藤慎太郎は、今年も相変わらず堅実な走りを披露している。1月和歌山記念⑤③②⑤着、同月平記念④①②着と成績をまとめていく。好位置キープに成功すれば連食い込みも。

中部勢は地元の吉田敏洋、S班常連だった実力者の浅井康太に期待がかかる。昨年12月以降はF1戦ばかりとは言え、ここ2カ月間の吉田の連対率は8割超。地元のG1に向けて仕上げに抜かりはない。浅井は1月平の準決で落車したが、再乗したので軽傷で済んだか。

昨年の覇者・中川誠一郎は今年初戦の1月大宮記念⑦①⑥着。まだエンジンがかかり切っていない印象だった。連覇を達成するためにもう少し調子を上げておきたい。

初のS班となった郡司浩平は、1月立川記念の準決で落車し鎖骨を骨折。多難なスタートとなったが練習は再開していて全日本選抜から復帰の予定。どこまで調子を戻せるかが浮沈の鍵だ。



佐藤慎太郎

主力メンバー

氏名	登録地	期別	競走得点	直近4ヶ月 前々期得点
浅井康太	三重	35	115.95	115.95
諸橋愛	神奈川	29	113.72	113.72
郡司浩平	神奈川	29	114.31	114.31
平原康多	埼玉	37	117.53	117.53
村上周幸	京都	40	113.72	113.72
佐藤慎太郎	福島	43	119.38	119.38
清水裕友	山口	25	118.40	118.40
松浦悠士	広島	29	119.38	119.38
佐藤慎太郎	福島	43	119.38	119.38
佐藤慎太郎	福島	43	119.38	119.38

全日本選抜競輪 出場予定選手

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	佐藤慎太郎	福島	78	115.95	S1	園田匠	福岡	87	113.23
	中川誠一郎	熊本	85	113.72		大森慶一	北海道	88	110.19
	村上博幸	京都	86	114.31		成田和也	福島	88	113.71
	平原康多	埼玉	87	117.53		山崎芳仁	福島	88	112.70
	松浦悠士	広島	98	119.38		渡邊一成	福島	88	109.56
	郡司浩平	神奈川	99	116.64		小笠正義	千葉	88	105.53
	清水裕友	山口	105	118.40		桐山敬太郎	神奈川	88	108.22
	室井健一	徳島	69	107.86		南修二	大阪	88	111.41
	志智俊夫	岐阜	70	107.10		柏野智典	岡山	88	112.54
	村上義弘	京都	73	113.34		内藤秀久	神奈川	89	108.75
	金子貴志	愛知	75	107.41		橋本強	愛媛	89	111.41
	香川雄介	香川	76	109.36		田中誠	福岡	89	107.55
	小倉竜二	徳島	77	112.82		山田英明	佐賀	89	113.42
	北野武史	石川	78	104.90		朝倉佳弘	東京	90	106.48
	諸橋愛	新潟	79	115.82		志村太賀	山梨	90	105.18
	中村浩士	千葉	79	110.98		田中晴基	千葉	90	107.08
	佐々木則幸	高知	79	103.70		浅井康太	三重	90	115.37
	萩原孝之	静岡	80	107.45		村田雅一	兵庫	90	107.73
	桑原大志	山口	80	110.00		池田憲昭	香川	90	108.47
	牧剛史	大分	80	100.15		阿竹智久	徳島	90	108.44
	伊勢崎彰大	千葉	81	106.91		松岡貴久	熊本	90	108.63
	佐々木雄一	福島	83	110.68		菅田老道	宮城	91	111.47
	渡部哲男	愛媛	84	112.86		神山拓弥	栃木	91	108.10
	大槻寛徳	宮城	85	111.06		柴崎淳	三重	91	115.67
	吉田敏洋	愛知	85	112.46		和田圭	宮城	92	110.10
	渡辺十夢	福井	85	109.06		木暮安由	群馬	92	114.23
	東口善朋	和歌山	85	110.24		三谷将太	奈良	92	110.00
	岡村潤	静岡	86	111.35		山田久徳	京都	93	110.33
	稲垣裕之	京都	86	111.22		椎木尾拓哉	和歌山	93	105.10
	湊聖二	徳島	86	108.81		坂本貴史	青森	94	107.78
	坂本健太郎	福岡	86	107.46		岩本俊介	千葉	94	111.82
	井上昌己	長崎	86	111.90		根田空史	千葉	94	108.66
	山賀雅仁	千葉	87	106.64		不破将登	岐阜	94	107.32
	和田健太郎	千葉	87	116.18		山田庸平	佐賀	94	105.43
	松岡健介	兵庫	87	108.63		松川高大	熊本	94	108.65
	岩津裕介	岡山	87	113.17		山中秀将	千葉	95	111.67

※2020年1月27日現在のデータです。